

小泉政権打倒、奥田＝生田の郵政民営化路線粉碎！ **04** 春闘勝利！

ナショナルセンターの違いをこえて
3・20 国際統一反戦10万人
集会に集まろう！

3月20日（土・休日）午後1時、東京・日比谷公園にて

イラク戦争と自衛隊派兵に反対し、労働者の生活と生命を守る、たたかう全通労働運動の出発点の日



たたかいは進む



【上】2月15日スペイン。10万人が「イラク戦争反対・占領軍は撤退しろ」とマドリード市街をデモ。【右上】1月25日、銀座。全通の旗を押し立ててイラク派兵反対・有事法制反対のデモに起った全通労働者。【右】2月9日、千葉駅前。動労千葉は、強制配転・組合破壊攻撃に対して指名スト・非協力闘争を貫徹。

3月20日、イラク開戦1周年の日、全世界数千万人規模の反戦行動が行われます。日本では、東京・日比谷公園で10万人の反戦行動が計画されています。イラク戦争とその後の占領支配は、石油のための侵略戦争です。小泉政権は、イラク派兵と郵政民営化（構造改革）路線を2本柱にしています。小泉構造改革路線は、すべての犠牲を労働者に強いるだけではなく、命まで差し出せという攻撃です。連合・全通中央本部は、小泉＝生田と同じ立場です。3・20日比谷10万人行動で時代の流れを変えましょう。

国際連帯の力で反戦と04春闘を闘おう

全通組合員のみなさん、郵便局で働くすべての労働者の皆さん。

3月20日、イラク開戦1周年の日、全世界で数千万人規模の反戦行動が行われます。この日、東京で10万人の集会とデモを実現しましょう。いま「3月20日、日比谷に集まろう」という訴えは、広範に広がっています。ナショナルセンターの枠組みをこえて、多くの労働組合が次々と参加を決定し、組織的な取り組みを開始しています。職場から、全通の旗を押し立てて、日比谷公園に集まりましょう。

私たちは今、時代の分岐点にたっています。「専守防衛」の建前さえなくなり捨てて、ついに自衛隊がまだ戦争状態のイラクに続々と出兵しています。日本は再び「戦



3・20イラク反戦国際行動を呼びかける米・反戦団体A・N・S・W・E・Rのピラ。東海岸はニューヨーク、西海岸はサンフランシスコで集会が予定されている。

争する国」として世界に凶暴な牙をむき出しにしました。一方、日本経団連は04春闘に向

けて、定昇廃止、ベースダウン等全面的な賃下げ攻撃を宣言し、労働運動の根本的な屈服と変質を要求しています。郵政職場では、人員削減、深夜勤の導入、賃下げと能力・実績給の導入、トヨタ生産方式の導入等、小泉生田の郵政民営化攻撃が激化しています。

私たちを死に追いやる職場状況をつくりだしている元凶は、小泉生田です。小泉政権は、イラク派兵と郵政民営化（構造改革路線）を2本柱にしています。この小泉政権をガタガタにして、階級的力関係を変えて、打倒する出発点の日が、3・20日比谷行動です。

3・20日比谷行動の合い言葉は、階級的力関係を変えよう、世の中を変えよう、歴史を変えようです。10万人が集まれば絶対に変えられます。小泉生田をぶつ飛ばし打倒できます。

自衛隊は撤退しろ！ 私たちを戦争に導く小泉政権を、今こそたおそう！

ブッシュ米大統領がイラク戦争突入の口実としていた「大量破壊兵器の存在」は、元米調査団長・デビット・ケイ氏やブリックス査察委員長の証言で、今や完全なウソであることがはっきりしました。

もはやイラク戦争に一片の正義もありません。すでに1万人ものイラク民衆が虐殺され、1万2千人が米軍に

よって拘束されています。イラク民衆の怒りの抵抗闘争が激化するの当然です。1日も早く軍事占領をやめさせましょう。

イラク戦争を真つ先に支持した小泉首相は、「自衛隊は戦争をしに行くのではない」「人道復興支援だ」と言つて派兵を強行しました。必ず起こる自衛隊員の死を、英雄あつかいにして侵略戦争を拡大しようとしているのです。

そもそもリストラ・首切り、福祉切り捨て、生活破壊の限りを尽くしている小泉首相が、「人道復興支援」などするはずありません。戦争は、いつの時代も民衆をあざむく美名のもとに、一握りの資本家と政治家たちの利権のために行われてきました。今度の派兵も、アメリカと一緒に石油利権を奪おうとするものです。

3・20日比谷を労働者の総決起、総反撃の日としよう。

深夜勤導入で現職死亡が始まった！

郵政民営化反対の旗を下ろした全通・中央本部を打倒しよう！

いま職場は、すさまじい状況にあります。3月始め、都内A局で、58才の全通組合員Bさんが死亡しました。2月8日の深夜勤導入から1ヶ月、自宅で休んでいたところ心不全で急逝されました。Bさんは、深夜勤に殺さ

れたのです。都内では、郵便内務労働者の訃報が続発しています。深夜勤は、直ちに中止すべきです。

2月8日の深夜勤導入以来、郵便内務職場の状況は一変しました。2連続、3連続、4連続の深夜勤は想像を越えた疲労をもたらしています。朝明けてまた夜出ていくという勤務は、時間が仮に6時間あつても6時間寝られるものではない。深夜勤の週は、2、3時間うとうとするくらいで、ほとんど眠らない状態で働いているというのが実感です。労働監獄そのものです。また、郵便外務も人減らし合理化の中で、慢性的な超勤状態です。この冬の繁忙期には、通配の4時間超勤が強制される局も出ています。予算の切りつめの中で、サービスク残業も強制されているところも頻発しています。「こんな勤務じゃ殺される」「定年まで働けない」これは、職場の声です。

組合の当局への協力が、こんな職場をつくっている

このような職場をつくりだしている元凶は、もちろん小泉・生田の郵政民営化路線にあります。しかし、もっと重大なことは、全通本部が全面的に当局に協力しているからです。連合・連合全通の路線・方針に最大の原因があるのです。たたかう方針で職場・分会・支部を組織して地本・中央本部を打倒し、たたかう本部を実現していくことが必要です。

そもそも連合とは89年の発足のときに、当時首相の竹下自民党総裁に「抱擁してつきあう」と言われたように一貫して一部の大資本と政府に協力する路線を掲げてきました。そして、いま連合は、イラク戦争の開始と自衛隊派兵の始まりの中で、いっさいの労働者の権利を、命までも、うりわたそうとしているのです。

この連合路線の、先頭を走っているのが全通中央本部です。中央本部は、名前を変え・賃下げを認め・能力給の導入や「コミルールの見直し」による団結破壊を認め・



■WORLD PEACE NOW 3・20 野外大音楽堂
 ■3・20 平和コンサート IN HIBIYA 小音楽堂

深夜勤や人減らしによる殺人的な労働条件を認めているのです。中央本部は、郵政民営化反対の旗を完全に下ろしました。戦争に反対しない労働組合は、労働者の生活と権利も投げ捨てるのです。

10万人行動（3・20日比谷） で時代の流れを変えよう

この職場状況を地殻変動的に塗り替える息吹が3・20イラク反戦行動にあります。

1・25日比谷のイラク反戦行動には、全通労働者が全通旗を押し立てて結集し、さらに3・20国際反戦行動にむけて新たな決起が始まっています。全通の各職場から「イラク侵略を許すな！ 自衛隊派兵反対！」の声がまきおこっています。「イラク反戦をたたかおう！」という職場の声は、当局へ反撃し中央本部の制動をぶち破る労働者階級の魂の声です。

「イラク反戦・自衛隊派兵阻止・小泉内閣打倒」「イラク反戦・郵政民営化反対」「イラク反戦・深夜勤反対」「イラク反戦・連合全通中央本部打倒」等のスローガンを掲げて、3・20日比谷に10万人の労働者を集めよう。その先頭に全通労働者がたちあがろう。

小泉＝生田の郵政民営化攻撃と対決し、世界の労働者のたたかいと連帯してたちあがろう。3・20日比谷を、連合支配をうち破り、たたかう労働運動をつくり出す出発点としよう。

全国労組交流センター
 全通労働者部会

東京都台東区元浅草2-4-10伊藤ビル5F
 TEL・FAX (03-3845-7461)
 mail:centergo@nifty.com